

平成19年12月11日

福井県高等学校教育問題協議会会長 様

福井県教育委員会

高等学校教育問題について（諮問）

下記の事項について、別紙理由を添えて諮問します。

記

今後の県立高等学校の目指すべき方向性について

諮 問 理 由

現在、社会経済情勢が大きく変化する中、教育界は戦後60年の総決算ともいべき大変革期の渦中にあり、高校教育においても、こうした社会の変化を踏まえた新しい時代にふさわしい在り方が求められている。

このような中、高校で学ぶ生徒たちが、自ら学ぶ意欲を高め、将来社会の中で活躍するために必要な知識や技能を身に付けるには、生徒が互いに切磋琢磨しながら、一人ひとりの個性や能力を最大限に引き出す「質」の高い教育環境の整備が重要である。

また、産業構造・就業構造の変化に伴い、職業教育に対する社会や生徒のニーズも一層多様化している。

さらに、定時制・通信制課程においても、生徒の入学動機や生活状況等の多様化が進んでおり、社会情勢の変化に対応した形態の検討が必要になっている。

については、高校で学ぶ生徒たちにとって魅力ある高校づくりを推進するため、今後の県立高等学校の望ましい在り方について、次の事項を中心に、十分かつ慎重な検討をお願いする。

【検討事項】

- ・ 地域の実情を踏まえた望ましい高校の規模および配置について
- ・ 社会のニーズに対応した職業系学科の在り方について
- ・ 就学、就労形態等に応じた定時制・通信制課程の在り方について